

〔別紙 1 1〕

様式 1

事業報告書

(自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 3 1 日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人 医 和 基 会

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)

② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資限度額法人

☒ その他

③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の ☐ を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 福岡県北九州市戸畑区初音町 1 3 番 1 3 号

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 平成 2 年 6 月 1 5 日

(4) 設立登記年月日 平成 2 年 6 月 2 2 日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	後藤 俊秀	
理 事	齋藤 和義	戸畑総合病院 管理者
同	筋田 憲二	
同	亀崎 俊久	
同	後藤 明子	
同	奥 理恵	介護老人保健施設 牧山いわき苑 管理者
同	桐谷 浩一	金刀比羅診療所 管理者
同	梶原 康巨	療養介護事業所 牧山療養院 管理者
同	坪根 好孝	
同	古田 正信	
監 事	北野 金一	

注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第 4 2 条の 3 第 1 項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第 4 6 条の 5 第 6 項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第 4 6 条の 4 第 1 項参照)

2 事業の概要

(1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種類	施設の名称	施設の医療機関コード 又は介護事業所番号	開設場所	許可病床数
病院	戸畑総合病院	4016419212	福岡県北九州市戸畑区 福岡柳木1丁目3番33号	一般病床 193床
診療所	医療法人医和 基会 金刀比 羅診療所	4016411797	福岡県北九州市戸畑区 金比羅町4番19号	無 床
介護老人 保健 施設	介護老人保健 施設 牧山い わき苑	4056480009	福岡県北九州市戸畑区 牧山1丁目1番1号	入所定員95名 通所定員35名
病院	療養介護事業 所 牧山療養 院	4016412027	福岡県北九州市戸畑区 初音町13番13号	一般病床 33床

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。
3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実施場所	備 考
医療法人医和基会 在宅介護支援センター	北九州市戸畑区牧山1丁目1番 1号	
医療法人医和基会 ケアプランサービスセンター	北九州市戸畑区牧山1丁目1番 1号	
医療法人医和基会 グループホーム金刀比羅	北九州市戸畑区金比羅町4番2 9号	入所定員 27名
病児病後児保育室 ひまわりルーム 【北九州市から委託を受けて管 理】	北九州市戸畑区初音町13番1 3号	

- 注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考
—	—	—

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 6年 5月29日 理事、監事の選任、理事及び監事の報酬額の決定
 〃 退任理事に対する退職慰労金支給の決定
 令和 6年 6月21日 令和5年度決算の決定
 令和 6年11月27日 病児病後児保育室開設、定款の変更
 令和 7年 3月26日 令和7年度の事業計画及び収支予算の決定

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

- (5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。
 医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

なし

- (6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

注) 1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。
 2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。
 なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

なし

- (7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

令和 7年 3月 1日 病児病後児保育室ひまわりルーム開設

- (8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

なし

(9) そ の 他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は
廃止等を記載する。(任意)

令和6年6月	空調換気システム取替工事	(戸畑総合病院)
令和6年7月	ガスヒートポンプエアコン一式リース契約	(牧山いわき苑)
令和7年2月	生理検査システム一式リース契約	(戸畑総合病院)
令和7年3月	医用画像レポートシステム一式リース契約	(戸畑総合病院)
〃	ひまわりルーム建築工事	(ひまわりルーム)

[別紙12]

様式2

※医療法人整理番号 00648

法人名 医療法人 医 和 基 会

所在地 北九州市戸畑区初音町13番13号

財 産 目 録

(令和7年3月31日現在)

1. 資 産 額	6,003,231 千円
2. 負 債 額	6,491,435 千円
3. 純 資 産 額	△ 488,204 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	1,217,524
B 固 定 資 産	4,785,707
C 資 産 合 計 (A+B)	6,003,231
D 負 債 合 計	6,491,435
E 純 資 産 (C-D)	△ 488,204

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

建 物 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式3-1

※医療法人整理番号 00648

法人名 医療法人 医 和 基 会

所在地 北九州市戸畑区初音町13番13号

貸 借 対 照 表

(令和7年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	1,217,524	I 流 動 負 債	1,555,425
現金及び預金	371,187	買掛金	56,396
事業未収金	751,530	未払金	302,713
たな卸資産	59,896	短期借入金	637,000
前払費用	19,209	一年以内返済長期借入金	329,238
短期貸付金	1,198	前受金	479
未収入金	18,869	預り金	54,284
貸倒引当金	△ 4,500	賞与引当金	77,669
その他の流動資産	135	未払法人税等	415
		未払消費税等	3,316
		短期リース債務	93,915
II 固 定 資 産	4,785,707		
1 有形固定資産	4,398,196	II 固 定 負 債	4,936,010
建物	3,248,126	長期借入金	4,733,862
構築物	3,813	長期預り金	930
医療用器械備品	15,276	リース債務	201,218
その他の器械備品	26,309		
車両及び船舶	25		
土地	810,329		
リース資産	294,318		
		負債合計	6,491,435
2 無形固定資産	41,771	純 資 産 の 部	
借地権	35,102	科 目	金 額
ソフトウェア	4,438	I 出 資 金	100,000
リース資産	815		
電話加入権	1,416	II 積 立 金	△ 588,204
		固定資産圧縮積立金	50,357
3 その他の資産	345,740	繰越利益積立金	△ 638,561
投資有価証券	10,500		
長期貸付金	115,802	III 評価・換算差額等	-
敷金	42,506		
生命保険積立金	11,070		
前払年金費用	163,274		
長期前払費用	1,513		
その他の固定資産	1,075		
		純 資 産 合 計	△ 488,204
資産合計	6,003,231	負債・純資産合計	6,003,231

- (注 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、該当資産、負債及び資本を示す名称を付した科目をもって、別に記載することを妨げないこと。
2. 社会医療法人、特別医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。
3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

[別紙14-1]

様式4-1

※医療法人整理番号 00648

法人名 医療法人 医 和 基 会

所在地 北九州市戸畑区初音町13番13号

損 益 計 算 書

(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		4,510,616
2 事業費用		
(1) 事業費	4,507,560	
(2) 本部費	-	4,507,560
本来業務事業利益		3,056
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		142,856
2 事業費用		178,147
附帯業務事業損失		35,291
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		-
2 事業費用		-
収益業務事業利益		-
事業損失		32,235
II 事業外収益		
受取利息	3,075	
その他の事業外収益	53,079	56,154
III 事業外費用		
支払利息	79,590	
その他の事業外費用	12,823	92,413
経常損失		68,495
IV 特別利益		
その他の特別利益	71,528	71,528
V 特別損失		
固定資産除却損	48	
その他の特別損失	1,000	1,048
税引前当期純利益		1,985
法人税・住民税及び事業税	415	
法人税等調整額	-	415
当期純利益		1,570

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、該当事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に記載することを妨げない。

※医療法人整理番号 00678

法人名 医療法人 医和基会
所在地 北九州市戸畑区初音町13番13号

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1)法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産総額 (千円)	事業内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
	該当なし								

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2)個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
当該医療法人の役員	後藤 俊秀	法人役員	理事長	貸付金 (注) 3	43,796	長期貸付金	115,802

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(注) 3. 返済については、毎月1,450千円を返済し最終精算は、令和13年12月予定とする。

※返済額

様式6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人 医 和 基 会
理事長 後藤 俊秀 殿

私は、医療法人医和基会の令和6会計年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1)事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2)会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3)計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4)理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和7年6月12日

医療法人 医 和 基 会

監事 北野 全一

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」とし、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。

独立監査人の監査報告書

令和7年6月17日

医療法人 医和基会
理事会 御中

奥村公認会計士事務所
福岡県豊前市

公認会計士

奥村 勝美

監査意見

私は、医療法第51条第5項の規定に基づき、医療法人医和基会の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの第35期会計年度の貸借対照表、損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びに財産目録（以下「計算書類」という。）について監査を行った。

私は、上記の計算書類が、全ての重要な点において厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して作成されているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書、関係事業者との取引の状況に関する報告書、純資産変動計算書及び附属明細表である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

継続事業の前提に関する重要な不確実性

継続事業の前提に関する注記に記載されているとおり、法人は、令和7年3月31日現在において488,203千円の債務超過の状況にあることから、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しており、現時点では継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる。なお、当該事象又は状況に対する対応策及び重要な不確実性が認められる理由について

ては当該注記に記載されている。計算書類は継続事業を前提として作成されており、このような重要な不確実性の影響は計算書類に反映されていない。

当該事項は、私の意見に影響を及ぼすものではない。

計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して計算書類を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類の表示及び注記事項が厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内

部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

注 記 表

1 継続事業の前提に関する事項

当医療法人の令和7年3月期決算においては、医業収益が前期比15,185千円の増収となりました。一方で、給与費や委託費などの医業費用が増加したことにより、医業損益は32,234千円の赤字となりました。しかし、病児保育事業施設補助金を特別利益として計上した結果、最終的には1,570千円の黒字を確保することができました。

なお、新5か年計画の初年度である令和7年3月期においては、医業収益・利益のいずれも計画値を達成できておらず、純資産の部の合計額は△488,203千円となり、債務超過の状態にあります。

当医療法人の中核をなす戸畑総合病院は、平成28年7月に竣工しており、その際の建設・設備関係のイニシャルコスト、償却負担増並びに借入金(令和7年3月31日現在の長期借入金残高5,063,100千円)による利子負担増が大きく、しかも、新型コロナウイルス感染症の影響も相まって、当法人の直近3期間の決算のうち、2期間は赤字決算を計上するにいたっております。

以上により、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が、存在しております。なお、当医療法人と金融機関との間には、財務制限条項はございません。

当医療法人では、このような経営状況を解消すべく、以下の諸施策を立案し実行に移して、おります。

- ・ 平時の医療体制への復帰とベッドコントロールの定着化で入院患者の占床率の増加による収入増
- ・ グループ内の連携（医療・介護・在宅）の強化による施設ごとの患者数・利用者数の増加による収入増
- ・ 人員の適性化と職員の安定確保に努め人材紹介会社の手数料を削減
- ・ 大学医局への働きかけによる常勤・非常勤医師の確保

上記、諸施策の実施により、入院患者数及び新規受入患者数の増加、安定的な医師及び看護師の人員確保ができ、当医療法人の経営状況悪化の大きな原因である、医業収益の大幅な増加を見込んでおります。令和7年3月期は、計画初年度でもあり、施策の運用結果が、未だ十分に成果を上げておらず、医業収益・利益のいずれも計画値を達成できておりませんが、当医療法人の新5か年計画は、令和7年3月期の実績を考慮しても、計画の最終年度である令和11年3月期において、債務超過解消を見込んでおります。

しかしながら、以上の諸施策は、いずれも実施途上の段階であり、医業経営は、国の医療政策、医師を初めとする専門職スタッフの雇用困難、気候状況や感染症の流行状況などの様々な要因に多大な影響を受けるため、経営改善策の効果を確定的に見積もることは困難であります。したがって、現時点では継続事業の前提に関する重要な不

確実性が、認められると言わざるを得ません。

なお、計算書類は継続企業の前提として作成されており、継続事業の前提に関する重要な不確実性の影響を計算書類に反映しておりません。

2 重要な会計方針に係る事項の注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

その他有価証券（時価のないもの）…移動平均法による原価法

② たな卸資産

最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産…定率法（ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（建物附属設備を除く。）および平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備並びに構築物については定額法）によっております。

② 無形固定資産…法人税法の規定による定額法によっております。

③ リース資産…リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金…債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上しております。

② 賞与引当金…職員に対し支給する賞与の支出に備えるため、当会計年度の負担する支給見込額に基づき計上しております。

③ 退職給付引当金（前払年金費用）…職員の退職給付に備えるため、当会計年度末における退職給付債務を簡便法（退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法）に基づき計上しております。

(4) 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

(5) 補助金等の会計処理について

固定資産に係る補助金等については、積立金処理により圧縮記帳を行っております。

3 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供されている資産に関する事項

担保に供されている資産の種類及び額は、次の通りとなっております。

- ・土地… 808,292 千円
- ・建物…3,251,938 千円

(2) 圧縮記帳を行っている補助金等の内容は以下の通りである

令和6年度北九州市病児病後児保育事業の施設整備補助金 50,684,000 円

(3) 重要な偶発債務に関する事項

該当なし。

4 損益計算書に関する注記

(1) 補助金の内訳、交付者、及び損益計算書への影響額

補助金等の内訳	交付者	金額（千円）	計上区分
運営費			
福岡県介護職員処遇改善支援補助金 （牧山いわき苑、グループホーム金刀比羅）	福岡県	1,158	事業収益
福岡県食事療養提供体制確保事業支援金 （戸畑総合病院、牧山療養院）	福岡県	723	事業収益
令和6年度福岡県看護補助者処遇改善事業補助金 （戸畑総合病院）	福岡県	721	事業収益
令和6年度福岡県医療機関等物価高騰対策支援金 （戸畑総合病院、金刀比羅診療所、牧山療養院）	福岡県	5,103	事業収益
その他	—	100	事業収益
小計		7,805	
施設整備			
令和6年度福岡県新興感染対応力強化事業費補助金 （金刀比羅診療所）	福岡県	902	雑収入
北九州市病児保育施設における ICT 化推進事業補助金 （ひまわりルーム）	北九州市	777	雑収入

令和6年度福岡県介護ロボット導入支援事業補助金 (牧山いわき苑)	福岡県	188	雑収入
令和6年度福岡県 ICT 導入支援事業費補助金 (グループホーム金刀比羅)	福岡県	531	雑収入
令和6年度北九州市病児保育事業の施設整備補助金 (ひまわりルーム)	北九州市	45,616	他特別 益
北九州市病児保育事業の施設整備支援補助金 (ひまわりルーム)	北九州市	5,068	他特別 益
小計		53,082	
合計		60,887	

(2) リース取引

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

5 重要な後発事象に関する事項

該当なし。

(該当する事項がない項目については、項目の掲記を省略することができる。)

様式第四号

※医療法人整理番号 0 0 6 4 8

法人名 医療法人 医和基会
所在地 北九州市戸畑区初音町13番13号

純 資 産 変 動 計 算 書
(自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日)

(単位:千円)

	基金 (又は出資金)	積立金				評 価 ・ 換 算 差 額 等			純資産合計
		代替基金	固定資産圧縮積立金	繰越利益積立金	積立金合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
令和 6 年 4 月 1 日 残高	100,000			△ 589,774	△ 589,774				△ 489,774
会計年度中の変動額									
当期純利益				1,570	1,570				1,570
固定資産圧縮積立金			50,684	△ 50,684	0				0
固定資産圧縮積立金取崩			△ 327	327	0				0
会計年度中の変動額合計			50,357	△ 48,787	1,570				1,570
令和 7 年 3 月 31 日 残高	100,000		50,357	△ 638,561	△ 588,204				△ 488,204

1. 純資産の変動事由及び金額の掲載は、概ね貸借対照表における記載の順序によること。
2. 評価・換算差額等は、科目ごとの記載に代えて評価・換算差額等の合計額を、前会計年度末残高、会計年度中の変動額及び会計年度末残高に区分して記載することができる。この場合には、科目ごとのそれぞれの金額を注記すること。
3. 積立金及び純資産の各合計欄の記載は省略することができる。

様式第五号

法人名 医療法人 医和基会

※医療法人整理番号 00648

所在地 北九州市戸畑区初音町13番13号

有形固定資産等明細表

資産の種類	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価償却累計額又は償却累計額 (千円)	当期償却額 (千円)	差引 当期末残高 (千円)
建物	3,346,529	100,483	0	3,447,012	2,928,696	198,886	3,248,126
構築物	4,211	—	—	4,211	16,083	399	3,813
医療器具器具備品	11,863	9,923	—	21,786	169,675	6,510	15,276
器具備品	26,025	12,409	48	38,385	131,139	12,076	26,309
車両	26	302	—	328	10,329	303	25
リース資産	342,460	76,803	18,100	401,163	326,931	106,845	294,318
土地	810,329	—	—	810,329	—	—	810,329
建設仮勘定	—	—	—	—	—	—	—
計	4,541,443	199,919	18,148	4,723,214	3,582,853	325,018	4,398,196
借地権	35,102	—	—	35,102	—	—	35,102
電話加入権	1,416	—	—	1,416	—	—	1,416
ソフトウェア	2,979	2,601	—	5,579	19,031	1,141	4,438
リース資産	458	858	—	1,316	239,200	501	815
計	39,955	3,459	0	43,414	258,231	1,643	41,771
投資有価証券	10,500	—	—	10,500	—	—	10,500
長期貸付金	159,598	34,604	78,400	115,802	—	—	115,802
敷金	72,906	—	30,400	42,506	—	—	42,506
生命保険積立金	38,344	—	27,273	11,070	—	—	11,070
前払年金費用	174,502	—	11,228	163,274	—	—	163,274
長期前払費用	764	749	—	1,513	—	—	1,513
その他の固定資産	1,065	10	—	1,075	—	—	1,075
計	457,678	35,363	147,301	345,740	0	0	345,740

1. 有形固定資産、無形固定資産及びその他の資産について、貸借対照表に掲げられている科目の区分により記載すること。
2. 「前期末残高」、「当期増加額」、「当期減少額」及び「当期末残高」の欄は、当該資産の取得原価によって記載すること。
3. 当期末残高から減価償却累計額又は償却累計額を控除した残高を、「差引当期末残高」の欄に記載すること。
4. 合併、贈与、災害による廃棄、滅失等の特殊な事由で増加若しくは減少があった場合又は同一の種類のものについて資産の総額の1%を超える額の増加は、その事由を欄外に記載すること。若しくは減少があった場合（ただし、建設仮勘定の減少のうち各資産科目への振替によるものは除く。）
5. 特別の法律の規定により資産の再評価が行われた場合その他特別の事由により取得原価の修正が行われた場合には、当該再評価差額等については、「当期増加額」又は「当期減少額」の欄に内書（括弧書）として記載し、その増減の事由を欄外に記載すること。
6. 有形固定資産又は無形固定資産の金額が資産の総額の1%以下である場合又は有形固定資産及び無形固定資産の当該会計年度におけるそれぞれの増加額及び減少額がいずれも当該会計年度末における有形固定資産又は無形固定資産の総額の5%以下である場合には、有形固定資産又は無形固定資産に係る記載中「前期末残高」、「当期増加額」及び「当期減少額」の欄の記載を省略することができる。なお、記載を省略した場合には、その旨注記すること。

様式第六号

法人名医療法人 医和基会

※医療法人整理番号00698

所在地北九州市戸畑区初音町13番13号

引 当 金 明 細 表

区 分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (そ の 他) (千円)	当期末残高 (千円)
賞与引当金	72,214	77,669	72,214	—	77,669
貸倒引当金	3,500	1,241	241	—	4,500

1. 前期末及び当期末貸借対照表に計上されている引当金について、設定目的ごとの科目の区分により記載すること。
2. 「当期減少額」の欄のうち「目的使用」の欄には、各引当金の設定目的である支出又は事実の発生があったことによる取崩額を記載すること。
3. 「当期減少額」の欄のうち「その他」の欄には、目的使用以外の理由による減少額を記載し、減少の理由を注記すること。

様式第七号

法人名医療法人 医和基会

※医療法人整理番号00648

所在地北九州市戸畑区初音町13番13号

借入金等明細表

区 分	前 期 末 残 高 (千円)	当 期 末 残 高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	644,500	637,000	1.96	—
1年以内に返済予定の 長期借入金	286,325	329,238	1.33	—
長期借入金（1年以内に 返済予定のものを除く。）	4,894,431	4,733,862	1.33	令和28年10月
1年以内に返済予定の リース債務	99,018	93,915	—	—
リース債務（1年以内に 返済予定のものを除く。）	243,900	201,218	—	—
その他の有利子負債	—	—	—	—
合 計	6,168,174	5,995,233	—	—

※2. 長期借入金上記残高の内、下記融資について特別の条件の約定利率あり
福祉医療機構(新型コロナウイルス感染症に伴う長期運転資金)

100,000 千円	(令和7年6月まで無利息、以降0.2%	令和17年6月完済)
200,000 千円	(0.2%	令和17年6月完済)
300,000 千円		

※5. 長期借入金1年毎の元金返済予定総額

令和7年度	329,238 千円
令和8年度	334,032 千円
令和9年度	334,032 千円
令和10年度	334,032 千円
令和11年度	302,721 千円

1. 短期借入金、長期借入金（貸借対照表において流動負債として掲げられているものを含む。以下同じ。）及び金利の負担を伴うその他の負債（以下「その他の有利子負債」という。）について記載すること。
2. 重要な借入金で無利息又は特別の条件による利率が約定されているものがある場合には、その内容を欄外に記載すること。
3. 「その他の有利子負債」の欄は、その種類ごとにその内容を示したうえで記載すること。
4. 「平均利率」の欄には、加重平均利率を記載すること。
5. 長期借入金（1年以内に返済予定のものを除く。）及びその他の有利子負債については、貸借対照表日後5年内における1年ごとの返済予定額の総額を注記すること。

様式第八号

法人名医療法人 医和基会

※医療法人整理番号00648

所在地北九州市戸畑区初音町13番13号

有 価 証 券 明 細 表

【債 券】

銘柄	券 面 総 額 (千円)	貸借対照表価額 (千円)
なし		
計		

【その他】

種 類 及 び 銘 柄	口 数 等	貸借対照表価額 (千円)
株式会社 藤栄	150株	7,500
有限会社 後藤労働衛生コンサルタント事務所	60株	3,000
計		10,500

1. 貸借対照表の流動資産及びその他の資産に計上されている有価証券について記載すること。
2. 流動資産に計上した有価証券とその他の資産に計上した有価証券を区分し、さらに満期保有目的の債券及びその他有価証券に区分して記載すること。
3. 銘柄別による有価証券の貸借対照表価額が医療法人の純資産額の1%以下である場合には、当該有価証券に関する記載を省略することができる。
4. 「その他」の欄には有価証券の種類（金融商品取引法第2条第1項各号に掲げる種類をいう。）に区分して記載すること。

様式第九の一号

法人名 医療法人 医和基会

※医療法人整理番号 00648

所在地 北九州市戸畑区初音町13番13号

事業費用明細表

(単位：千円)

区 分	本来業務事業費用			附帯業務 事業費用	収益業務 事業費用	合 計
	事業費	本部費	計			
材料費	589,938	—	589,938	72	—	590,010
給与費	2,661,574	—	2,661,574	123,242	—	2,784,816
委託費	443,445	—	443,445	27,157	—	470,602
設備関係費	522,251	—	522,251	10,363	—	532,614
経費	285,249	—	285,249	17,182	—	302,430
その他の事業費用	5,103	—	5,103	131	—	5,234
計	4,507,560	—	4,507,560	178,147	—	4,685,707

1. 売上原価には、当該医療法人の開設する病院等の業務に附随して行われるもの（売店等）及び収益業務のうち商品の仕入れ又は製品の製造を伴う業務について記載すること。
2. 中科目区分には、それぞれ細区分を設け、売上原価については、商品（又は製品）期首たな卸高、当期商品仕入高（又は当期製品製造原価）、商品（又は製品）期末たな卸高を、材料費、給与費、委託費、経費及びその他の費用については、その内訳を示す費目を記載する様式によることもできる。
3. その他の事業費用には、研修費のように材料費、給与費、委託費及び経費の二つ以上の中区分に係る複合費として整理した費目を記載する。

様式九の二号

法人名 医療法人 医和基会

※医療法人整理番号 00648

所在地 北九州市戸畑区初音町13番13号

事業費用明細表
(自 平成 6年 4月 1日 至 平成 7年 3月 31日)

(単位: 千円)

科 目	金 額	
I 材料費		
期首材料棚卸高	54,904	
医薬品費	302,547	
診療材料費	292,060	
期末材料棚卸高	59,501	590,010
II 給与費		
給料	2,178,014	
給与・手当	1,774,720	
出向者負担金	8,559	
非常勤給与	169,784	
通勤費	50,429	
役員報酬	174,522	
賞与	164,448	
退職給付費用	52,827	
賞与引当金繰入	77,669	
法定福利費	311,858	2,784,816
III 委託費		
検査委託費	31,843	
給食委託費	211,883	
寝具委託費	22,360	
労務委託費	78,414	
清掃委託費	91,456	
保守委託費	10,137	
その他委託費	24,510	470,602
IV 設備関係費		
減価償却費	326,661	
地代家賃	32,133	
器機賃借料	16,521	
修繕費	33,827	
固定資産税等	43,211	
器機保守料	70,540	
器機設備保険料	4,607	
車両関係費	5,115	532,614
V 経費		
福利厚生費	17,245	
旅費交通費	1,559	
職員被服費	11,180	
通信費	9,068	
消耗品費	23,636	
消耗器具備品	11,079	
会議費	-	

水道光熱費	119,139	
保険料	14,924	
交際費	4,837	
諸会費	6,853	
租税公課	11,866	
図書新聞費	2,381	
事務用品費	13,508	
支払手数料	38,204	
広告宣伝費	1,390	
顧問料	8,346	
寄付金	2,252	
貸倒引当金繰入	1,241	
雑費	3,722	302,430
VI その他の事業費用		
研修費	5,234	5,234
事業費用計		4,685,707

1. 売上原価には、当該医療法人の開設する病院等の業務に附随して行われるもの（売店等）及び収益業務のうち商品の仕入れ又は製品の製造を伴う業務について記載すること。
2. I からVIの中科目区分は、省略する様式によることもできる。
3. その他の事業費用には、研修費のように材料費、給与費、委託費及び経費の二つ以上の中区分に係る複合費として整理した費目を記載する。